



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月4日

上場会社名 日東紡 上場取引所 東  
 コード番号 3110 URL <https://www.nittobo.co.jp>  
 代表者(役職名) 取締役代表執行役社長(氏名) 辻 裕一  
 問合せ先責任者(役職名) 常務執行役(氏名) 多田 弘行 (TEL) 03-4582-5040  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	20,518	4.8	1,693	△17.4	1,622	△24.2	815	△90.5
2021年3月期第1四半期	19,584	△5.0	2,049	20.7	2,140	14.0	8,569	772.8

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 1,825百万円(△58.5%) 2021年3月期第1四半期 4,397百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	21.03	—
2021年3月期第1四半期	220.87	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	182,927	105,258	54.6
2021年3月期	184,652	104,389	53.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 99,800百万円 2021年3月期 99,131百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	22.50	—	22.50	45.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	22.50	—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	42,000	9.7	3,400	17.1	3,000	6.4	2,200	△75.0	56.70
通期	85,000	8.0	6,600	10.7	6,200	△1.2	4,500	△44.4	115.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期1Q	39,935,512株	2021年3月期	39,935,512株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	1,137,648株	2021年3月期	1,137,268株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期1Q	38,798,058株	2021年3月期1Q	38,799,320株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、[添付資料]3ページ記載の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、持ち直しの動きがあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況が続いております。世界経済も、先進国を中心にワクチン接種が進み回復の動きが見られるものの、原油価格の上昇や半導体不足等もあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは本年4月より新中期経営計画をスタートしました。持続可能な社会実現のために、「環境・エネルギー」「デジタル化社会」「健康・安心・安全」に貢献するグローバル・ニッチ No.1を創造し続ける企業グループを目指し、成長戦略の実践と経営基盤の強化に取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間では、依然として新型コロナウイルス感染症拡大による収益への影響は残りましたが、一部のセグメント・事業においては、コロナ禍前の販売の水準に回復いたしました。

この結果、連結売上高は20,518百万円（前年同四半期比4.8%の増収）、営業利益は1,693百万円（前年同四半期比17.4%の減益）、経常利益は1,622百万円（前年同四半期比24.2%の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は815百万円（前年同四半期比90.5%の減益）になりました。

各事業における状況及び取り組みは以下の通りです。

グラスファイバー事業部門に属する原繊材事業、機能材事業、設備材事業の状況と具体的な取り組みは、以下の通りです。

原繊材事業では、強化プラスチック用途の複合材で販売回復の動きがありましたが、国内大型溶融炉の定期修繕など一過性の収益マイナス要因がありました。この結果、当事業は売上高5,734百万円（前年同四半期比0.8%の増収）、営業利益は339百万円（前年同四半期比68.1%の減益）となりました。

機能材事業では、ミドルグレードガラスクロスの販売は増加しましたが、高速大容量通信に資する電子材料向けスペシャルガラス・クロスは、前年度第2四半期に実行された米国によるハイテク機器の対中国輸出制限以降、需要が鈍化し、輸出制限前の前第1四半期連結累計期間における販売水準には及びませんでした。この結果、当事業は売上高5,600百万円（前年同四半期比1.1%の増収）、営業利益は721百万円（前年同四半期比23.3%の減益）となりました。

設備材事業では、設備・建設資材向けガラスクロス及び住宅向け断熱材が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から販売が減少し、当事業は売上高4,179百万円（前年同四半期比5.0%の減収）、営業損失は43百万円（前年同四半期は営業利益22百万円）となりました。

ライフサイエンス事業のメディカル事業では、国内外とも回復基調にあり、全体で前第1四半期連結累計期間の販売を上回りました。飲料事業においては、外出自粛等の影響は続くも、飲料生産受託の数量は堅調に推移しました。この結果、当事業は売上高4,154百万円（前年同四半期比28.6%の増収）、営業利益は681百万円（前年同四半期比27.2%の増益）となりました。

繊維事業では、新型コロナウイルス感染症による外出自粛の他、新しい生活様式へのシフトを背景にした衣料品への消費マインドの低迷が続いておりますが、前第1四半期連結累計期間に受けた百貨店等の店舗休業の影響が軽減し、売上高668百万円（前年同四半期比21.0%の増収）、営業損失は19百万円（前年同四半期は営業損失148百万円）となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の実績および足元の業績動向を踏まえ、2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を以下の通り修正いたします。通期の業績予想は、第2四半期連結累計期間の修正に伴い、上方修正いたしません。

## 2022年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想値 (2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	42,000	2,800	2,400	1,700	43.82
今回修正予想 (B)	42,000	3,400	3,000	2,200	56.70
増減額 (B) - (A)	—	600	600	500	
増減率 (%)	—	21.4%	25.0%	29.4%	
前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	38,280	2,904	2,818	8,788	226.52

## 2022年3月期 通期連結業績予想値 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	85,000	6,000	5,600	4,000	103.10
今回修正予想 (B)	85,000	6,600	6,200	4,500	115.98
増減額 (B) - (A)	—	600	600	500	
増減率 (%)	—	10.0%	10.7%	12.5%	
前期通期実績 (2021年3月期)	78,727	5,964	6,274	8,100	208.77

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	30,320	24,277
受取手形及び売掛金	23,985	23,736
商品及び製品	8,598	8,480
仕掛品	4,296	4,737
原材料及び貯蔵品	21,451	21,884
その他	5,237	3,386
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	93,887	86,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,886	16,731
機械装置及び運搬具（純額）	21,246	23,413
土地	14,983	15,190
リース資産（純額）	1,451	1,404
建設仮勘定	10,035	13,023
その他（純額）	1,902	1,900
有形固定資産合計	65,506	71,663
無形固定資産		
投資その他の資産	2,595	2,985
投資有価証券	17,282	16,552
退職給付に係る資産	377	402
繰延税金資産	3,356	3,163
その他	1,664	1,680
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	22,661	21,777
固定資産合計	90,764	96,426
資産合計	184,652	182,927

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,570	7,269
短期借入金	7,252	7,300
1年内返済予定の長期借入金	5,518	5,157
リース債務	378	368
未払法人税等	2,528	189
賞与引当金	1,080	451
事業構造改善引当金	710	710
その他	9,836	11,319
流動負債合計	33,875	32,765
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	19,322	18,122
リース債務	1,690	1,625
修繕引当金	5,652	5,600
退職給付に係る負債	7,976	7,753
その他	1,746	1,802
固定負債合計	46,387	44,903
負債合計	80,262	77,669
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,699	19,699
資本剰余金	19,037	19,037
利益剰余金	61,831	61,789
自己株式	△2,559	△2,561
株主資本合計	98,008	97,964
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,714	2,174
為替換算調整勘定	△371	836
退職給付に係る調整累計額	△1,220	△1,175
その他の包括利益累計額合計	1,123	1,835
非支配株主持分	5,257	5,458
純資産合計	104,389	105,258
負債純資産合計	184,652	182,927

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	19,584	20,518
売上原価	12,657	13,691
売上総利益	6,926	6,826
販売費及び一般管理費	4,877	5,132
営業利益	2,049	1,693
営業外収益		
受取配当金	233	210
受取賃貸料	19	19
その他	45	81
営業外収益合計	298	311
営業外費用		
支払利息	62	54
為替差損	2	213
休止賃貸不動産関連費用	82	75
その他	60	38
営業外費用合計	207	382
経常利益	2,140	1,622
特別利益		
固定資産売却益	3,086	—
投資有価証券売却益	6,568	—
受取保険金	1,499	—
その他	19	—
特別利益合計	11,174	—
特別損失		
固定資産処分損	59	18
災害による損失	1,060	220
特別損失合計	1,119	239
税金等調整前四半期純利益	12,194	1,383
法人税、住民税及び事業税	3,354	108
法人税等調整額	215	418
法人税等合計	3,569	527
四半期純利益	8,625	856
非支配株主に帰属する四半期純利益	55	40
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,569	815



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益	8,625	856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,098	△514
為替換算調整勘定	△210	1,439
退職給付に係る調整額	80	44
その他の包括利益合計	△4,227	969
四半期包括利益	4,397	1,825
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,397	1,528
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	297

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、有償支給取引について、従来は有償支給した支給品について消滅を認識しておりましたが、支給品を買い戻す義務を負っている場合、当該支給品の消滅を認識しない方法に変更しております。また、輸出版売において従来は主に船積時点で収益を認識しておりましたが、インコタームズ等で定められた貿易条件に基づきリスク負担が顧客に移転した時に収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の利益剰余金の当期首残高及び損益に与える影響は軽微であります。なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	原織材 事業	機能材 事業	設備材 事業	ライフ サイエンス 事業	繊維 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	5,686	5,538	4,397	3,229	552	19,405	179	19,584	—	19,584
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,657	104	88	159	2	3,012	520	3,533	△3,533	—
計	8,344	5,643	4,486	3,389	554	22,417	700	23,117	△3,533	19,584
セグメント利益 又は損失(△)	1,064	940	22	535	△148	2,415	63	2,478	△429	2,049

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械設備関連事業及びサービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△429百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用、セグメント間取引に係る未実現利益消去等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	原織材 事業	機能材 事業	設備材 事業	ライフ サイエンス 事業	繊維 事業	計				
売上高										
顧客との契約から 生じる収益	5,734	5,600	4,179	4,138	668	20,320	181	20,502	—	20,502
その他の収益	—	—	—	16	—	16	—	16	—	16
外部顧客への 売上高	5,734	5,600	4,179	4,154	668	20,337	181	20,518	—	20,518
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,578	76	129	134	2	2,921	792	3,713	△3,713	—
計	8,313	5,677	4,308	4,288	670	23,258	973	24,232	△3,713	20,518
セグメント利益 又は損失(△)	339	721	△43	681	△19	1,680	80	1,760	△66	1,693

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械設備関連事業及びサービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△66百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用、セグメント間取引に係る未実現利益消去等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更が当第1四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。